

「高千穂郷」通信



西臼杵の9棚田が「つなぐ棚田遺産」に選定！
ふるさとの誇りを未来へ

○棚田の詳しい情報はコチラ



つなぐ棚田遺産
～ふるさとの誇りを未来へ～
の選定について：農林水産省
www.maff.go.jp

「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」に、県内で13棚田が選定されました。これは、農林水産省において、棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、優良な棚田を認定することで、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的機能に対する国民のより一層の理解醸成を図るものです。

今回、西臼杵管内では、「日本の棚田100選」として農林水産省に認定（平成11年度）された7棚田に加え、新たに「東岸寺扇の峰棚田」、「深角棚田」の2棚田が選定されました。

なお、つなぐ棚田遺産オフィシャルサポーター（全国13団体 R4.2.18現在）として、当地域の活動を支援していただいている、株式会社梅田学園と国富梅園株式会社が認定されています。



「ひなたの棚田遺産」について：宮崎県

www.miyazakitana.com

第5回インフラメンテナンス大賞 特別賞受賞 日之影土地改良区

このたび日之影土地改良区は、公募された社会資本のメンテナンスに関する取組247件の中から、その取組が高く評価され、第5回インフラメンテナンス大賞農林水産省表彰の特別賞を受賞しました。



この賞は、増大する社会基盤の維持管理に対する優れた取組や技術開発を表彰し、広く紹介するとともに、取組の促進、メンテナンス産業の活性化・普及を図ることを目的として創設されています。

今回の日之影土地改良区の取組は、34kmにも及び七折用水のうち4面を囲まれた水路区間（16km）について水路内を搭乗走行できる車を地元企業と共同開発したことにより、人が腰をかめ道具を持ち運びしながら行っていたかつての管理の負担を軽減し、効率良く管理できるようにしたものです。おめでとうございます。





気になる道路整備！

1.5車線の道路整備を行う 県道諸塚高千穂線 赤仁田工区を紹介！

西臼杵郡の県道はそのほとんどが山間部に位置しており、地形条件が厳しい箇所が多くあります。そのため、限られた予算を効果的に使い、地域の状況に応じた通行機能を早期に確保するために**1.5車線の道路整備**に取り組んでいます。今回は、その事例を紹介します。

可能な限り現道を利用しながら、1車線整備、突角剪除および待避所設置等を組み合わせた整備のこと

改良前



改良後



令和3年度より県道諸塚高千穂線赤仁田工区の改良工事に着手しており、その一部が令和4年3月に完成しました。整備前は幅員が狭く見通しが悪かった区間が、整備後は小型車同士が離合できる幅員が確保され、見通しも利くようになりました。残る箇所も順次改良を行う予定で、全区間の整備完了後は、観光活性化にも大きな効果が期待できます。



椎茸の魅力体験！五ヶ瀬町の小学生が駒打ちを行いました



2月3日（木）に五ヶ瀬町で「しいたけ教室～椎茸駒打ち体験～」が開催され、町内の小学校6年生33名が参加しました。

児童たちは、生産者と町職員から椎茸生産の苦勞や地域の実情、資源の循環利用などについて説明を受けた後、駒打ち体験を行いました。

今回駒打ちした椎茸は、五ヶ瀬中学校の校庭に伏せ込みを行い、その後、収穫までの生産過程を観察し、駒打ちした小学生が中学2年生になる2年後に収穫します。さらに収穫した後は、乾燥、袋詰めを行い、商品化した上で、延岡市などで販売する予定です。

この取組は、生産から販売までの一連の流れを体験することで、県内でも乾しいたけの品質がトップクラスである五ヶ瀬町の椎茸生産の魅力や生産流通について学ぶとともに、町内外にPRする良い機会となっています。

児童からは「椎茸農家さんはもっと少ない人数で駒打ちをされていると思うので、大変苦勞をされていると感じた」「お店で買うときに、原木椎茸を選んで買うように家族に言おうと思う」といった声がありました。



体系的農家研修第8回「地域活性化と千年生きる村づくり」を開催！



1月26日（水）に農業改良普及センターで、西都市銀鏡地区（旧東米良）の(株)かぐらの里の代表である濱砂修司氏から御講演をいただきました。

集落の過疎等が進む中、「会社を通して村を支える」ため、耕作放棄地への柚子の植栽など農地を守りながら柚子の生産拡大・加工販売に取り組んでいることや、社員や移住者のための古民家改装、柚子とりサポーターの募集等の活動を紹介されました。



また、社外活動として、学校や文化を支えるために山村留学の受入れや神楽の継承等にも取り組まれており、村づくりへの熱い思いを肌で感じたところです。

研修参加者からは、「先見性や会社を通じた村づくりに感銘を受けた」等の意見をいただいたところであり、今後も、西臼杵ならではの研修を企画してまいります。

工藤慎一郎さん（高千穂町） 宮崎日日新聞農業技術賞を受賞



完熟きんかんを栽培する工藤慎一郎さんが、第64回宮崎日日新聞農業技術賞を受賞されました。

工藤さんが栽培を始めた1999年当時、冷え込みの厳しい西臼杵の出荷時期は県南地域に比べて1ヶ月以上遅く、単価が低いという課題に直面していました。工藤さんは、高単価が期待できる1月の出荷を目指し、開花を早めるための温度管理や剪定などの技術を確立され、現在では、早期出荷を実現しています。

また、現在は、JA高千穂地区果樹振興会きんかん部会の会長も務められており、糖度が高く、色が綺麗な西臼杵のきんかん産地のさらなる発展に向け、尽力されています。

高千穂町三田井地区の析股県有地で植樹祭を開催しました



2月10日（木）に、西臼杵衛生公社事務所前の県有地で、植樹祭を開催しました。これまで、周辺の草刈り等は西臼杵衛生公社の方々が善意で実施していただいています。

当該地は、平成30年度の大雨により一部崩壊したため、今年度西臼杵支庁が山腹工事を実施しました。今回の植樹祭は、西臼杵衛生公社と山腹工事の受託者である西臼杵森林組合の皆様、西臼杵支庁職員で常緑ヤマボウシを10本植栽しました。常緑ヤマボウシは、6月以降に白い花を咲かせるため、周辺を散策される方の心を癒やしてくれることと思います。西臼杵衛生公社の皆様には、日頃から周辺草刈り等をしていただき感謝申し上げます。

神話の里『高千穂』で育つ、**ラナンキュラス**を見に行こう♪ みやざき食農連携プロジェクト



2月13日（日）に、みやざきローカルフードプロジェクト観光事業協議会主催で、高千穂町と「**あまてらすラナンキュラス**」（西臼杵産のラナンキュラスの総称）を紹介するオンラインツアーが開催されました。

このツアーは、コロナ禍でも旅行気分が味わえるよう、オンラインで高千穂神社やあまてらす鉄道等の高千穂町を代表する観光地と、あまてらすラナンキュラスを紹介するもので、全国から約60組の参加がありました。

ラナンキュラスの中継は、中川登集落の濱山幸波氏のほ場で行われ、栽培管理の説明や、西臼杵オリジナル品種の紹介等があり、参加者は美しい花に魅了されていました。



Facebookページ 「ウキウキ！好き好き！ニシウスギ！」
西臼杵観光推進連絡協議会 公式Instagram 更新中！

高千穂高校 『地域で学び、地域を学ぶ』高千穂高校魅力向上推進委員会

2月4日（金）に、令和3年度高千穂高等学校魅力向上推進委員会が高千穂高校T-LABOで行われ、佐伯校長のあいさつでは、一人一台の端末導入や地域みらい留学365の留学生受入れなど、来年度の新たな取組の紹介がありました。



会議では、令和4年度の事業計画案等が紹介されました。早速、西臼杵郡内の中高生、その保護者等へのアンケートを実施し、高千穂高校の印象や地域からの要望を把握するとのことでした。

委員からは、「社会貢献をキーワードに活動すると成長が期待できる」、「高校生の活動している姿を中学生に見せる機会が必要」など、多くの意見が出されました。

委員会としても本格的に魅力向上に向けた取組に動き出しますので、地域も一丸となって、高千穂高校を応援していきましょう。

高千穂高校
からのお知らせ

中学校と高校による遠隔英語授業



2月17日（木）に、日之影中学校2年生と高千穂高校普通科1年生をオンラインで繋いだ合同英語授業が行われました。高校の先生が授業を進行し、高校生と中学生は、ディスプレイでお互いの様子を見ながら、タブレットPCのチャットにより英文で質問し答えるなど、英語によるコミュニケーションを学んでいました。また、遠隔で英語添削を行うバングラデシュ人講師や日本人アドバイザーがオンラインで授業に参加し、中高生への確かなアドバイスをしていました。

ICTの活用で、中高連携や海外と繋がるなど授業の幅が広がり、新しい可能性が見出せたようです。

高千穂高等学校（TEL：0982-72-3111）

発行／宮崎県 西臼杵支庁 編集／総務課
〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井22
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760



神話伝説の山里
「高千穂郷」通信

